

おぢや



市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 50

20.10.25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505



農業管理センター

昭和50年3月15日千谷川2丁目に竣工（鉄筋3階建て建床：
329.76㎡、延床：1,027.31㎡）

昭和50年4月より魚沼農業共済組合、同年6月より山吉池ヶ
原土地改良区合同事務所及び平成18年1月18日から（財）新潟
県スキー連盟が現在、事務所として利用しています。

本年10月に農産物加工練習場の工事を着工し、平成21年1月
末頃に利用開始する予定です。

- 定例会議決結果 …………… P 2
- 常任委員会報告 …… P 2～4
- 一般質問 …………… P 4～8
- 雪あかり …………… P 8

—主な掲載内容—

平成二十年小千谷市議会 第三回定例会 議決結果

条例の制定・改正

- 小千谷市夢の架け橋基金条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市工業団地事業特別会計設置条例の制定 (全会一致)

- 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 (全会一致)

- 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市総合産業会館サンプラザ条例の一部を改正する条例 (全会一致)

予算

- 平成二十年度小千谷市工業団地事業特別会計予算 (全会一致)

予算の補正

- 平成二十年度小千谷市一般会

計補正予算(第二号)
(起立多数)

- 平成二十年度小千谷市下水道特別会計補正予算(第一号) (全会一致)

- 平成二十年度小千谷市農業集落排水事業特別会計補正予算(第一号) (全会一致)

- 平成二十年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第一号) (全会一致)

決算の認定

- 平成十九年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定 (起立多数)

- 平成十九年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 (起立多数)

- 平成十九年度小千谷市老人保健特別会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 平成十九年度小千谷市下水道特別会計歳入歳出決算認定 (全会一致)

- 平成十九年度小千谷市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定 (全会一致)

- 平成十九年度小千谷市地域間交流センター特別会計歳入歳出決算認定 (全会一致)

- 平成十九年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定 (起立多数)

- 平成十九年度小千谷市宅地造

成事業特別会計歳入歳出決算認定 (全会一致)

- 平成十九年度小千谷市ガス事業会計決算認定(全会一致)

- 平成十九年度小千谷市水道事業会計決算認定(全会一致)
- 平成十九年度小千谷市工業用水道事業会計決算認定 (全会一致)

その他

- 財産(機械器具)の取得 (全会一致)

- 長岡地域土地開発公社定款の一部変更 (全会一致)

- 小千谷市道路線の認定 (全会一致)

- 小千谷市教育委員会委員の任命 (同意全員)

- 小千谷市教育委員会委員の任命 (同意全員)

- 子どもたちが学費を心配せず私立高校で学べるようにするために、公費(私学助成)の増額・拡充を求める意見書の採択に関する請願(全会一致)

- 「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める請願 (全会一致)

発議

- 小千谷市議会会議規則の一部を改正する規則(全会一致)

- 子どもたちが学費を心配せず私立高校で学べるようにするために、私学助成の増額・拡充を求める意見書(全会一致)
- 地域間格差を拡大する地方移譲に反対し、安全安心な公共事業を国の責任で実施することを求める意見書(全会一致)
- 道路特定財源の一般財源化に伴う地方の道路予算確保に関する意見書 (全会一致)
- 地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書 (全会一致)
- 拉致事件の早期解決のため北朝鮮に対する経済制裁措置の一部解除に関する意見書 (起立多数)

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました案件は、議案五件及び請願一件でありました。審査は、九月四日、五日及び八日の三日間にわたり開催し、平成二十年度一般会計補正予算(第二号)及び平成十九年度一般会計決算認定については、社会土木委員会、産業経済委員会との三常任委員会の連合審査会といたしました。委員会で各議案とも慎重に審査し、

五件とも原案のとおり可決、及び認定すべきものと決しました。請願一件については全員異議なく採択すべきものと決しました。○議案第六十九号、小千谷市夢の架け橋基金条例の制定については、「ふるさと納税制度」が導入されたことに伴い、その寄附金の管理に対応するための条例を制定するものです。意見として、一般財源からの積立は、基金の処分まで、その額が凍結される。凍結させるよりは必要とする事業費に充てるべき。寄附と一般財源の積立の比率にこだわらず、できるだけ寄附だけで運営されるようにすべき。ふるさと納税は、地方にとって財源確保の好機、寄附金の増大確保に努力されたい。市民が思いを外に伝えることにより、寄附しようという行動が起る。思いを最大限伝える努力をお願いしたい。としたものがありました。○議案第七十一号及び議案第七十二号は条例が引用する法律の一部改正に伴い、引用する条項のズレや字句について整理のため改正するものです。○議案第七十四号、平成二十年度小千谷市一般会計補正予算(第二号)については、主として、灯油購入補助助成事業経費、休日救急診療支援事業補助金、工

業団地事業特別会計繰出金、中学校耐震診断委託料並びに平成十九年度決算に伴い、予算補正するものです。歳入歳出それぞれ一億三千九百二十七万六千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ百七十四億四千七百一十五万五千円とするものです。

○議案第七十九号、平成十九年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について、平成十九年度歳入決算額は前年度比三十六・一%減の百七十四億四千七百一十五万五千円、歳出決算額は前年度比三十五・一%減の百六十四億六千九百六十五万五千円で、翌年度へ繰越すべき財源三千百八十万一千円を差し引いた実質収支額は五億六千七百六十三万五千円の黒字となっております。なお、經常収支比率は、九十一・九%に、起債制限比率は十・六%となっております。

○請願第四号、子どもたちが学費を心配せず私立高校で学べるようにするために、公費（私学助成）の増額・拡充を求める意見書の採択に関する請願については全員異議なく採択すべきものと決しました。

社会土木委員会

本委員会に付託されました十件の案件を慎重に審査をし、原

案のとおり可決・認定すべきものと決しました。

○議案第七十五号平成二十年度小千谷市下水道特別会計補正予算（第一号）について

追加される補正額は三千万円で、歳出の主なものとは下水道施設費であります。

○議案第七十六号平成二十年度小千谷市農業集落排水事業特別会計補正予算（第一号）について

予算総額の変更はなく財源の組み替えをするというものであります。

○議案第七十七号平成二十年度小千谷市介護保険特別会計補正予算（第一号）について

追加される補正額は一千三百三十八万一千円で、国県支出金等過年度分返還金の歳出であります。

○議案第八十号平成十九年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は三十五億四千二百二十八万三千円、歳出決算額は三十六億六千六百八十九万三千円で、歳入歳出差引歳入不足額一億二千四百六十一万円を翌年度歳入繰上充用金で補てんしたというものであります。

○議案第八十一号平成十九年度小千谷市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は四十一億百五十九万八千円、歳出決算額は四十九億八千二百二十万円で、歳入歳出差引残額二千五百五十七万六千円を翌年度に繰越すというものであります。

○議案第八十二号平成十九年度小千谷市下水道特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は二十二億三千二百五十四万四千円、歳出決算額は二十一億四千八百四十八万八千円で、歳入歳出差引残額八千三百六十四万五千円を翌年度に繰越すというものであります。

○議案第八十三号平成十九年度小千谷市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は五億六百四十四万一千円、歳出決算額は四億九千六百三十七万四千円で、歳入歳出差引残額一千六万七千円を翌年度に繰越すというものであります。

○議案第八十五号平成十九年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は二十九億五千七百円、歳出決算額は二十八億七千四百八十一万五千円で、歳入歳出差引残額七千五百三十五万四千円を翌年度に繰越すというものであります。

○議案第八十六号平成十九年度小千谷市宅地造成事業特別会計

歳入歳出決算認定について

歳入決算額は五千二百八十六万八千円、歳出決算額は五千二百八十六万円で歳入決算額と同額であります。

○議案第九十二号小千谷市道路線の認定について

市街地における道路網の再編計画により県から引継ぐ道路及びバイパス工事などの完成後、県から引継ぐ道路を市道に認定したいとするものであります。

路線名は本町山本線、元町千谷線、屋敷五号線、屋敷町裏線の四路線であります。

産業経済委員会

本委員会に付託されました案件は、議案七件、請願一件の計八件でありました。九月十六日に開催しその結果について報告いたします。

各議案とも慎重に審査し、議案七件とも原案のとおり可決・認定すべきものと決し、請願一件についても採択すべきものと決しました。

○議案第七十号小千谷市工業団地事業特別会計設置条例の制定について、西部工業団地の拡張事業を実施するにあたり、特別会計の設置、歳入歳出等の規定

等であり、平成二十年十月一日から施行したいというもので、弾力条項の意味、今後の土地開発公社との関わりについて、質疑がありました。

○議案第七十三号小千谷市総合産業会館サンプラザ条例の一部を改正する条例の制定について、サンプラザ三階の和室の一部をフロアに改修し、多目的ホールとして利用するため改正したいとするものであります。

○議案第七十八号平成二十年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について、議案第七十号に基づき予算を計上するもので、予算の総額を歳入歳出それぞれ三億七百六十二万三千円とするというものであります。

○議案第八十四号平成十九年度小千谷市地域間交流センター特別会計歳入歳出決算認定について、歳入歳出決算額は三億五千五百七十七万三千円で同額であり差し引きゼロ円、これは、平成二十年から指定管理者が管理運営を行うことに伴い、特別会計を平成十九年度で廃止するためであります。

○議案第八十七号平成十九年度小千谷市ガス事業会計決算認定について、二億二千三十七万六千八百八十八円の当年度純利益とな

り、企業債の償還と健全財政の認識、剰余金と一般会計繰入金の関連、ガス需給状況の見通し等質疑がありました。

○議案第八十八号平成十九年度小千谷市水道事業会計決算認定について、一億五百五十九万六千五百十一円の当年度純利益となり、供給単価と原価のバランス、健全経営への認識、浄水施設の耐用年数、県下の水道料金、簡易水道の運営状況と課題等質疑がありました。

○議案第八十九号平成十九年度小千谷市工業用水道事業会計決算認定について、五千五百二十八万三千五百八十四円の当年度純利益となり、特別損失の内容、企業債の償還、決算審査意見書の長期的視点の内容等質疑がありました。

○請願第五号「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める請願について、政府が進めている消費者行政一元化・強化の推進を踏まえ、政府及び国会に対し必要な法制度を整備し、また、財政措置をとることを求める意見書を提出してもらいたいというものであります。

市政の内容を聞く

一般質問

時給千円とする公契約条例の制定を

風間 健一 議員

一、県立医科大学の新設を

質問 小千谷、魚沼両病院の常勤の医師不足は深刻です。また、医師不足からくる過酷な勤務実態から、勤務医をやめる医師も後を絶ちません。医師確保のため県知事に県立医科大学の新設や医学部の定員増を国に働きかけることを強く要請していただきたい。

答弁 県立医科大学の設置等について国、県に要望したい。二、時給千円とする公契約条例の制定について

質問 公契約条例の基本的な考えは、住民の税金を使う公的事業で利益を得ている事業者は労働者に人間的な労働条件を保障すべきであり、発注者の公的機関はそれを確保する責任があ

るということです。市との契約によって、建設工事、清掃、介護サービスなどの委託先の労働者が低賃金で働かされることがあつてはなりません。私は公契約による事業の委託先で働く人たちが安心して仕事ができ、良質な仕事を確保し、地域経済の活性化のため、最低でも時給千円とする公契約条例の制定をすべきだと思ふ。

答弁 当市における契約は正当な経済活動を行っている相手方との間に公正になされているので公契約条例を制定する必要はない。

三、雇用促進住宅の廃止について

質問 政府は雇用促進住宅を「平成二十三年度までに廃止する」と決定しています。もし廃止することになった場合、住民に代わりの住宅を保証するなど、住民の一方的、強制的な追い出しを行わないで頂きたい。

答弁 退去に際して市が直接関係できないが、入居者が市外に流出しないよう最大限の配慮をしたい。

学力テスト結果と東小の駐車場の事で

西澤 代三 議員

質問一 文部科学省は今春四月実施した「全国学力テスト(小

学六、中学三)の結果を公表した。①連続の実施に対して無用論も出ているが、市教委の見解はどうか。②昨年初回のテスト結果と二回日本年度の調査結果との比較はどうか。③県内における小千谷地域の学力の位置はどうか。④学習指導面でテスト結果をどのように活用しているのか。

教育長答弁一 ①同テスト実施については異論はなく了解されました。②全国平均、県平均等のおおよその状況は説明することにしました。③小中学とも国及び県の平均とほぼ同程度でありました。④学習状況に応じて、個別指導面にも活用を工夫しています。

質問二 東小千谷小学校の駐車場は狭隘で、来客用の駐車スペースが確保できず不便な状況である。駐車場の早期拡張整備が急務である。最近、用地買収が可能になったとの情報がありPTA間から交通安全指導が可能な多目的な駐車場の整備が切望されている。

因みに正門の脇に「交通安全全宣言碑」が、昭和四十年に建立されている。



同校の交通事故犠牲、児童の鎮魂の碑であり、以来、交通安全運動に全校で前向きである。

教育長答弁二 教職員用の駐車スペース以外に余裕がなく、冬期間の排雪も苦労して来ました。校地の隣接に一千六百九十平方メートルの用地の確保の交渉が順調に進み、用地確保が可能になったので、交通指導ができる交通公園を兼ねた屋外運動場整備を急ぎ、可能な場合は臨時駐車スペースとしても活用できるように考えています。

小千谷市の医師不足対策について

吉崎 進 議員

質問 県では「新潟県医師養成修学資金」制度を創り、医師確保に力を入れている。月額三十三万円の重点コース(募集人員三名)と月額五万円の一般コース(募集人員五十二名)がある。

勤務義務履行年限は県内の病院で、重点コースが貸与年数×一年、一般コースが貸与年数×一年となっている。

また、県では平成十七年度から毎年度三市町村とタイアップし、県と市町村がそれぞれ月額十五万円ずつの修学資金制度を始めており、十七年度は十日町市、佐渡市、糸魚川市が、十八年度は阿賀野市、阿賀町、魚沼



後期高齢者医療、産業活性化について

佐藤 隆一 議員



市が、十九年度は見附市、柏崎市、上越市が行っている。さらに二十年度から糸魚川市は独自に月額三十万円の修学資金制度を行い、現在二名がこの制度を利用している。小千谷市においても医師不足は深刻であり、解消するために月額十万円程度の他の奨学金と併用可能な修学資金制度が必要と思うがいかがか。

【答弁】

小千谷市の医師不足を解消するために、市独自の医師養成修学資金制度が必要ではないかとの見解であるが、当市の病院においても深刻な問題であるので、この制度により病院勤務医師不足の問題が解消されることになれば、制度を創設する意義があるのではないかと思う。ただし、修学資金制度には多額の資金を要することから、効果をよく検証し貸与が無駄にならないように実施することが重要である。制度創設で先行している他市の状況を十分に研究し、この結果に基づき当市での創設の必要性や制度の内容を検討していきたいと考えている。

【質問】

保険料の年金天引に伴って、世帯主の社会保険料控除が減るため増税になるケースが指摘されている。後期高齢者保険の見直しにより、市町村窓口の申請を前提に口座振替への変更も可能となったが、①窓口の相談体制は。②増税が予想される市民は何人で変更した市民の数は。③市の広報は、いつ、どんな内容、方法で行われたのか。

【答弁】

①特別に相談室は設けず窓口で対応した。郵送でも可能。②増税の可能性のある市民は二千二十六人で七十九人が変更を希望。③市報おぢやで七月二十五日、八月二十五日に実施した。県広域連合は新聞折込チラシを二回実施している。今後も周知に努めたい。

【質問】

企業立地促進法による小千谷市・長岡市・柏崎市三市による「中越三市産業活性化協議会」が発足した。アメリカのパブ

ル崩壊によって先行き不透明感が強まっているが、①平成二十年度の計画策定(国の同意)で進めるのですか。②市は産業集積についてどの業種を指定するつもりか。③環境整備、特に継続的対策を要する人材育成についてどのように進めるのですか。

【答弁】

①十月上旬、十一月下旬の協議会を経て、十二月上旬までに国へ提出し同意を求めたい。②基本計画で、機械・金属関連、基礎素材型、雑貨型、食料・飲料関連の四分野を指定し、市内企業の増設や移転、新たな企業進出に対応したい。③人材養成研修や企業間及び産学による共同研究・製品開発の施設設置により、地域産業が相乗効果で発展できるよう協議会で提案していきたいと考えている。

農業振興策&ガス事業民営化等検討は?

大平 貢 議員

【質問】

世界的に見れば食糧不足。中国等からの食品輸入は食の安全安心を脅かしている。わが国の食糧自給率が低く将来に不安。農業振興は当市にとっても大事。

【質問】

①特産農産物の振興を図れ。②農産物の直売所の充実を図れ。③農産加工を販売にまで発展すよう誘導せよ。④集落営農化や法人化を進め、

山本山ヒマワリとデマンドバスについて

柳田 宏光 議員



一、山本山ヒマワリ畑について

【質問】

本年は、山本山にヒマワリが作付けされなかったため、小千谷にお盆帰省した人達が、故郷の山本山でヒマワリと写真が撮れなかったというところで大変残念があった。理由は連作障害でとのことだが、連作障害を避けるには、土地の移動が良い。山本山には、三十五ヘクタールの牧草地があるので移動して作ってはどうか。又、来年も作付けしないつもりか?

【答弁】

土地の移動が最も有効なことはわかるが、牧草地に作る牧草の種子が混入した表土の除去が必要だ。土壌改良を行い来年は作付けする。

【質問】

毎朝、過疎集落の狭い道路を何人も乗車していない大型バスが走っている。歩道の無い道を児童は、命がけて通学し



ており、又、このバスの不採算分は市が補助している。こうした二点を解消するにも、小型マイクロスバス、あるいは、タクシーを利用し、デマンド方式のバス運行に切り替えてはどうか？

長寿医療制度について

中山 俊雄 議員

質問一 長寿医療制度は、説明不足もあり混乱を招いたが、その後、制度の見直しがなされ、改善策が示された。この制度についての所見を。

答弁 国は、高齢者の方々からのご意見ご要望を受け「所得の低い方に対しての保険料の軽減」や「保険料の年金天引きを、一定の条件で口座振替すること」とした今回の改善策は、評価したい。

質問二 年金天引き制度についての考えを。

答弁 年金からの特別徴収は、被保険者にとっては納入の手間を省き、保険者にとっては保険料徴収の事務合理化及び収納率の向上につながるから望ましい制度と考える。しかし、望

まない方は、口座振替を選択できることになった今回の改正は、評価できるものと考えている。

質問三 新設された担当医制度は、高齢者の方にとってはよい制度と考えます。現在の実施の状況は。

答弁 後期高齢者診療料は、包括化による医療の質の低下が懸念されるほか、医療側の理解や体制が整っていないため厚生労働省の諮問機関である中央社会保険医療協議会にて再検証を行うことになっており、その経緯を見たいと考えている。

質問四 長寿医療制度の仕組み等を高齢者の方によく知ってもらう広報活動が重要と考えるが。

答弁 開始直後は混乱を招いたが、今後市報おぢやを有効に活用し、広域連合とも連携をとりながら制度の見直しも含め高齢者の方々への周知に努めてまいりたい。なお福祉団体等の会合で、制度説明の要請があれば出向いてまいりたいと考えている。

原油・諸物価の影響など四点を問う

安達 稔 議員

質問一 「原油・諸物価高騰の影響について」①実施計画への影響は。建築資材の高騰など「スライド条項」の適用を含め対応

を伺う。②指定管理者への影響は。また、今後の対応は。③当市の産業分野への影響は。どのような手を打っているのか。④当市の農業施策はどのように。

答弁一 ①工事契約後の急激な価格変動分を国、県に準じて「単品スライド条項」を適用した。

②灯油価格を注視し、必要に応じて委託料の増額を検討。③鉄工電子や食品関係など厳しい状況下。商工会議所と連携を図り対応していきたい。④市としてできることがあれば実施したい。

質問二 「学校給食について」①食材の値上げにはどのように対応しているのか。②本年の値上げはどれ位と予測していたのか。③今後の対策を伺う。

教育長答弁二 ①予測が立てられない現状。六施設が給食費の値上げをした。デザートなどを減らすなど創意工夫している。②予想を上回る上昇。③米飯給食の増加などで対応したい。

質問三 「多重債務問題について」①返済に苦しんでいる市民を早く見つけ救済していただきたい。

答弁三 消費生活相談窓口で対応し、法律の専門家を紹介。

質問四 「学校裏サイトについて」①把握状況と対処はどのようか。②携帯電話の所持率は。③当市のネット教育はどのようか。④今後の取り組みは。

教育長答弁四 ①書き込みによるトラブルが、年に数件報告され、学校全体で問題解決に当たっている。②七月現在小学校七％、中学校三十二％。③危険性やモラルなども指導している。④きめ細かな指導を行っている。

災害メモリアル整備の取り組み状況とごみ問題について

岩淵 清 議員

質問一 中越大震災の経験と教訓を後世に伝え、研究・学習ができるメモリアル拠点整備その後の取り組み状況は。

答弁 長岡市、川口町とともに策定した基本構想は、昨年十二月二十六日泉田知事に早期実現を要望し、その際知事から全面的に協力するとの回答がありました。具体的な計画は、中越防災安全推進機構があたることとし、さる四月二十三日にメモリアル拠点整備委員会が設置され、この事業が事実上スタートしました。

質問二 相次ぐ原油価格の高騰とも相俟って、限りある資源を長期にわたって安定的に利用するため、質・量ともに良好なりサイクルの徹底が必要である、また減量化を図るべきだ。

答弁 分別区分は県内二十市中

本市を含め八分類が二市、十七分類が一市、平均十三分類です。容器包装プラスチックの内外の汚れを落とすにいたることが再利用に効果的です。一人一日あたりごみの排出量は全国平均と同様です。埋立地の耐用年数は今後十一年と見込んでいます。



質問三 レジ袋の有料化問題と本市ごみの有料化の検討は。

答弁 県では来年四月から全県一斉にレジ袋の有料化を実施したいとして検討に入りました。本市ごみの有料化は、他市町村の制度比較をしておりレジ袋の有料化も含め総合的に検討したいと考えています。

なお、県内でごみの有料化を実施している自治体は、可燃ごみ二十二市町村、不燃ごみ二十市町村、粗大ごみ十九市町村となっています。

農業振興、農都共生について

川上 直栄 議員

質問一 水田経営所得安定対策市町村特認制度への取り組みが

近隣、とりわけ魚沼市と比較して市町村別カバー率において遅れてしまった要因は何か、来年度に向けてハードルを下げて対応すべきと考えるが。

答弁 近隣に比して特に低いとは思わないが、魚沼市が多かったのは面積要件の特認制度も要因の一つではないかと考える。

質問二 農都共生事業の今後の発展計画は。

答弁 これまでに整備した施設を効果的に活用しながら新たな取り組みに対する支援もしていく。

質問三 首都圏でのアンテナショップの設置を検討してはどうか。

答弁 杉並区など当市と関係の深い自治体を中心に関係団体と協議し検討したい。

質問四 有機農業の推進対策をどう進めるのか。

答弁 食の安全に対する国民の関心が高まっていくものと思われるため、関係機関と協議しながら安全・安心な農産物の生産を振興していく。

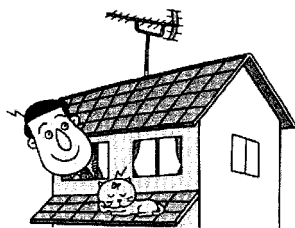
質問五 ワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けた小千谷市の計画と考えるは。

答弁 「おぢや男女共同参画プラン」をはじめ、市全体の施策の中でワーク・ライフ・バランス社会の実現を推進していく。

地上デジタル放送と教育問題について

田中 淳 議員

質問 地上デジタル放送に変更になり、経済的に困窮度の高い世帯や、共聴施設に対し当市としての施策はどう考えているのか。



答弁 国の答申により、生活保護世帯に簡易型地上デジタルチューナーやアンテナの支給等、国の支援策に沿って対応していきたい。

自主共聴施設を対象に、国が半分、残りの半分を市と利用者で負担となりますが、自主共聴施設の利用者だけが過大な負担にならないよう、市と利用者の負担割合を検討していきたいと考えております。

質問 南部郷の小学校統合問題についてのお考えは。

答弁 当面、南部地区の隣接する学校への統合をお願いしながら、将来的には南部地区における統合小学校の建設構想を、検討することとしています。現在はいろいろな角度から検討の事前準備をしていますが、具体的な

をお示しする段階にいたっておりません。

質問 現行教育制度の変更や、「小中一貫校制度」等により特色ある義務教育を展開できると思うが教育長のお考えは。

教育長答弁 「小中一貫校制度」に対しては、構造改革特区や文部科学省の研究開発校の指定が必要であり、市教育委員会として、この是非を論ずるのは時期尚早と考えております。

しかし、小中一貫した教育が必要という点では同じ認識であり、「おぢやっ子教育プラン」を作成し、九年間の見通しの中で「心豊かにたくましく生きる小千谷の子ども」を目指し取り組みんでおります。

白山運動公園体育施設の整備について

山賀 一雄 議員

質問 スポーツの振興を考えると、施設整備は行政の果たす役割が大きい。そこで、小千谷市の屋外体育施設の拠点として位置付けられている白山運動公園の体育施設整備について伺います。

運動公園は、昭和五十二年野球場のオープンに始まり、順次、施設が整備され今日に至っている。しかし、経過年数による施設の劣化や、中越大地震で

被災し復旧した施設にも不備な箇所がある。施設の維持管理は大変であるが、経年による劣化や近隣市町村の施設整備の状況等を考え併せると、大幅な改修整備が必要である。本年度から二十二年度の総合計画実施計画によれば、体育施設の整備改修事業がいくつか予定されている。その整備内容を含め、運動公園の体育施設をどのように整備する考えか伺いたい。

答弁 野球場の整備について、内野グラウンドの整備を本年十月から、ダッグアウトは平成二十二年度を目途に、また、スコアボード等は年次的に整備するよう検討する。陸上競技場は雨水対策が必要なことから、年次計画の中でフィールドの全天候化を検討したい。多目的広場は、今後、必要な整備をしていく。

は、膨大な経費を必要とするので費用対効果を考え、競技人口等の推移を見ながら検討する。グリーンヒル白山は震災前の社会体育施設として活用する。周辺地域等の整備については、運動公園の拡張を含め具体的な計画はない。いずれにしても、体育施設の整備については「小千谷市スポーツ振興計画」をもとに、年次計画の中で検討したい。

市民サービス・企業誘致と雇用・文化施設設立

本田 剛 議員



質問一 市役所申請窓口に昼勤業務等の都合で、交付申請ができない市民のため、平日の時間延長ができないか。又、他県でも実施している所が有る申請用鍵付ボックスを設置時間外であっても申請書を投函、後日郵送にて送付の方法等考えてほしい。

答弁 窓口時間延長は平成十二年に試行したが利用者が少なく取りやめた。現在異動が多い三、四月に窓口時間延長を実施。時間外ボックスの投函は本人確認等で支障をきたす可能性があり実施は考えてない。

質問二 県内求人倍率は今年六月時点で当市は上、中、下越で最も低かった。特に若者が定着できる職場の確保、更に人口減少の食いとめ対策として積極的に他社へ出向き県内外からの企業誘致を早急に進めてほしい。

答弁 求人倍率は七月には上向きに改善された。職場の確保と

して地元企業へ規模拡大の支援を考えている。企業誘致も用地の間合せに迅速な対応をし今年、地質水脈調査で要望に即した造成を進めたい。企業の用地取得や雇用に補助金制度も検討中である。

質問三

今年、当市の美術協会が市内収蔵家の遺品展を開催したが、見学者の中から当市に史料館等がないのが残念だという声が多数聞かれた。絵画、陶磁器、遺跡、史跡など紹介し交流人口を呼び寄せ地域に根ざした文化施設、観光事業として設立を願いたい。加えて学芸員設置も考えてほしい。

答弁

本年オープンした楽集館は展示収蔵の機能を備えており文化施設史料館として今後活用していきたい。学芸員配置は、その時の必要に応じ資格ある職員を配置又、市民の方で知識を持った方からのご協力をお願いしたい。

議会日誌

7月～9月

〈7月〉

- 1日 社会土木委員会行政視察に出発（北海道士別市・滝川市）
- 2日 秋田県鹿角市議会行政視察に来市
- 3日 柏崎港整備・利用促進協議会通常総会（柏崎市）

〈8月〉

- 1日 市民学習センターオープニングセレモニー
- 4日 新風クラブ・政友クラブ行政視察に出発（岐阜県美濃市）
- 5日 水明会行政視察に出発（千葉県酒々井町）
- 8日 総務文教委員協議会
- 8日 総務文教委員会行政視察に出発（山形県上山市、宮城県登米市）
- 10日 議会報編集委員会
- 14日 岐阜県可児市議会行政視察に来市
- 15日 産業経済委員会行政視察に出発（北海道小樽市・深川市・岩見沢市）
- 16日 議会報編集委員会
- 16日 滋賀県草津市議会行政視察に来市
- 23日 新潟県特別豪雪地帯市町村議会協議会理事會及び県要望（新潟市）
- 30日 産業経済委員会と商工会議所との懇談会

〈9月〉

- 3日 一般国道117号改良促進期成同盟会総会（十日町市）
- 3日 第三回定例会（本会議）
- 3日 議会報編集委員会
- 4日 三常任委員会連合審査会
- 5日 三常任委員会連合審査会
- 7日 全国豊かな海づくり大会（新潟市）
- 8日 総務文教委員会
- 8日 総務文教委員協議会
- 9日 天皇皇后両陛下下行幸啓（長岡市）
- 12日 社会土木委員会
- 16日 産業経済委員会
- 16日 議会運営委員会
- 25日 本会議（第二日）
- 26日 本会議（第三日）
- 26日 議会報編集委員会
- 29日 議会運営委員会
- 29日 本会議（第四日）

愛知県豊橋市議会行政視察に来市

総務文教委員協議会

宮城県登米市

岐阜県可児市議会行政視察に来市

産業経済委員会行政視察に出発（北海道小樽市・深川市・岩見沢市）

滋賀県草津市議会行政視察に来市

大分県竹田市議会行政視察に来市

一般国道117号改良促進期成同盟会総会（十日町市）

新潟県特別豪雪地帯市町村議会協議会理事會及び県要望（新潟市）

産業経済委員会と商工会議所との懇談会

北朝鮮への制裁解除に反対する緊急集会（新潟市）

市民学習センターオープニングセレモニー

新風クラブ・政友クラブ行政視察に出発（岐阜県美濃市）

水明会行政視察に出発（千葉県酒々井町）

社会土木委員協議会

愛知県日進市議会行政視察に来市

新潟県特別豪雪地帯市町村議会協議会中央要望

産業経済委員協議会

中越地区市議会合同議員研修会（十日町市）

議会運営委員会

県市議会議長会秋季定期総会（十日町市）

主要地方道小千谷十日町津南線改良整備促進期成同盟会総会（津南町）

第三回定例会（本会議）

議会報編集委員会

三常任委員会連合審査会

三常任委員会連合審査会

全国豊かな海づくり大会（新潟市）

総務文教委員会

総務文教委員協議会

天皇皇后両陛下下行幸啓（長岡市）

社会土木委員会

産業経済委員会

議会運営委員会



33



日岡 金一

（茶台）

サイバネティックスの創始者ウィナー博士は、ロボットにどうしてもできないことが二つあると言っておられる。一つは自分の頭のスイッチを入れること。もう一つは、混沌とした中から考えを生み出すことである。

今年も中越大震災の日が巡ってきた。前ぶれもなく電気・ガス・水道・通信手段を奪われた生活のみじめさと共に、そうした中での人々の処し方がしみじみと思ひ出される。互いを思いやりながら、大人も子供も男性も女性も無我夢中でその時その場の智慧を出し合い、自分のできることを進んで行った。地域の組織と一体になった動きだった。行政の力の大きさ、全国の人々の支援に感謝しながら、人々のつながりの中で生かされていることを実感した。ウィナー博士の提唱から半世紀余りを経て、ロボットは限りなく人間に近づいた。データ

の収集処理や記憶などは人間の能力の及ぶところでない。しかし、情緒に裏つけられた自発性と創造性は博士の指摘をまだ越えてはいない。
静かに、おちや市議会たより綴り・市報おちや綴りに目を通す。小千谷市史の具体的な統編として、大切にしていきたいと思ひながら。

編集後記

朝晩めつきり寒くなり、山々も色付き始めました。市内の小、中学校では文化祭の時期となりました。季節は緩やかに流れておりますが、アメリカのサブプライムが発端となり、世界同時株安が毎日報道されており、世界同時株安が毎日報道されており。先日、市内の会社に勤める方から一円円高になると一億の減収になると伺いました。また、ある機械工作会社の社長さんからは、八月以降注文が横ばいとなり、十月に入ったら急激に落ち込んでいられるというお話も伺いました。
事故米穀で製造した米粉でんぷんが小千谷市内の学校及び保育園では使用されていないことが判明いたしました。兎に角混濁とした社会情勢ですが、一日も早く落ち着き、灯火親しむ秋を満喫したいものです。